

# 心を育み未来を創る 家づくり

心身ともに健やかに暮らすための風水の整った住環境

一般社団法人 国際風水科学協会 推奨

一般社団法人 日本建築医学協会 推奨

NPO法人 日本自然素材研究開発協議会 推奨

## ドクターズホーム

# 住まい環境が人を創り、住まいが身体と心を癒やし豊かな未来を創る

ドクターズホームの住まいづくりは、風水、高気密・高断熱性能をベースに、建築医学や環境脳科学・環境心理学・色彩心理学など最先端の知識を活用した、これまでの住まい概念を大きく変えるものです。

その先進的な住まいづくりは、住む方の肉体的なストレス緩和にとどまらず、環境を整えることで精神的な癒やし（心の健康）を与え、心身ともに健やかに過ごせる空間を創出します。

ドクターズホームは環境を整える12の要素を重要視しています。人は住環境から、視覚や聴覚、触覚、嗅覚などの五感を通し無意識のうちにさまざまな情報を取り入れています。長い時間を過ごす住まいだからこそ、住環境の12の要素を洗練させることが大切になり、それがクオリティ・オブ・ライフの向上に繋がっていくと考えます。

風水の良い場所、風水科学で12の要素（気、空気、土地、磁気、デザイン・形、間取り、光・色、香り、音、外構・庭、素材、高性能）を整えた住環境できれいに暮らすことが重要です。

今回は環境を整える12の要素の知っておきたいポイントをまとめました。住環境についてのお困りごとや問題点の改善、軽減することも可能です。ドクターズホームがご提案、プロデュースを行っていますのでお気軽にご相談ください。



健康と幸せは、風水の整った住環境から

## Contents

風水・建築医学をもとにした、体と心を癒やす住まいづくり	3
医師が認める住環境を整えた健康住宅	4
家族の幸せ、円満は、風水の整った住環境から	5
良い運、良い気を育てる、風水の整った住環境	6
家と人の相性を風水で調整して、豊かな未来を創る	7
風水の良い土地、環境は財・体・心が健康になる	8
心身や脳に良い影響を及ぼす埋炭は大地をヒーリングする	9
良いデザインは感性、感受性、創造性を豊かにする	10
運が良くなる形、家族が円満になる形	11
よい間取りは、家族のコミュニケーションをつくり、絆を深める	12
光の恩恵をいっぱいを受けて、良質な睡眠と健康維持を	13
色が人の心理に与える効果とチカラ	14
よい香りは、心身のリラックス、免疫機能、集中力が高まる	15
優れた遮音、吸音素材がストレスを和らげる	16
良い素材は快適な環境を創り、心にも体にも良い影響を与える	17
良い外構・庭は、心が穏やかになり癒やされ、ゆとりが生まれる	18
方角によって相性の良い樹木・植物を配置し運氣アップ	19

# 風水・建築医学をもとにした、体と心を癒やす住まいづくり

## 住空間を心身が癒やされる場とする 治療体系の構築と啓蒙普及を目指す

一般社団法人 日本建築医学協会 理事長  
一般社団法人 国際風水科学協会 理事長  
ラックマネジメント・フォーラム 代表  
運と経済の専門家 経営コンサルタント



松永修岳

国家財政における医療費の負担が毎年増加し、健康保険制度の破綻・崩壊が取りざたされている昨今、医療において「病気をいかにして治すか」以前に「いかに人を病気にさせないか」が緊急の、そして国家的な課題として浮上してきています。

そこで問題になってくるのが、年々増加し続けている生活習慣病です。現在、日本人の60パーセント以上が三大生活習慣病である「がん」「脳卒中」「心筋梗塞」によって亡くなっています。この生活習慣病と住まい環境とは密接な関係にある、ということが分かってきました。つまり、住環境や職場環境から来る様々な環境ストレスが、生活習慣病の大きな原因と考えられるのです。

逆に言う「住人や職員を病気になりにくくする住環境や職場環境を作ることができる」その可能性が見えてきたのです。「住環境・職場環境を改善することを通して積極的に病気を予防する」これこそ予防医学・未病医学の根幹を成すテーマと言ってよいでしょう。このテーマに取り組む医学として、当協会は「建築医学」を提唱します。

当協会では、建築学、住居学、医学および環境工学の専門家が持つ知見の融合・共同研究により、環境と生体との相互作用と有機的な繋がりを解き明かし、住環境の改善に必要なデータの収集および情報提供を行い「住空間・職場空間を心身が癒やされる場とする治療体系の構築」とその啓蒙普及を目指します。それらを通して、一人ひとりの脳が活性化し、創造性が高まり、生きることの意義や目的を見出していくことと当協会は考えます。

### 【略歴】

明治大学卒業／シンガポール国立大学LKY公共政策大学院地政学プログラム修了

企業とCEOの参謀、「運と風水」の専門家、密教の阿闍梨でもある。上場会社をはじめとする様々な会社の経営者や政治家の運氣と業績を上げ、さらには数多くの一流スポーツ選手やアーティストを成功に導く。

ホームページ <https://www.fusui.co.jp/>

## 現代医学にとって、待望ともいえる 革新的な住まいづくり

医師／産業医

大國義弘



現代医学の発達により、より多くの方が、以前なら命を落としていたような病気からの生還を果たしている一方で、病人は日々増加の一途を辿っています。少なくとも日本では餓死者が出なくなったことと引き替えに、毎年600万トンもの食料が破棄されている我が国では、栄養失調ならぬ栄養過多や、交通機関の発達などによる運動不足も大きな背景の一つです。

もう一つ、見落としがちなのが住環境の変化です。シックハウス症候群と呼ばれる、昔の住宅とは異なる新建材などによる健康被害が生まれています。食事過多や運動不足が、患者さんにとって自覚されやすい事とは対照的に、住環境の変化は、それが病気の原因と普通は認識されないため、これを明らかにすべき医師の病歴聴取が重要です。

すなわち、医師が診察時に「最近引越しはされましたか」「最近、普段掃除しない場所を掃除しましたか」などと質問することが病気の治療に直結することがあるのです。私も患者さんが「ドクターズホーム」に住み始めたことで病気を克服した事例を目の当たりにして、知識としてはありましたが、住環境が病気の原因となることのあるとの認識を改めて深めました。

ドクターズホームの誕生は現代医学にとっても、待望ともいえる革新的な出来事です。今後はドクターとドクターズホームが手を取り合って病が改善し、予防医学が発展していくことも夢ではありません。

ドクターズホームのさらなる普及を願ってやみません。